



大宮区

● 特 性 ●

大宮区は、本市中央部の北寄りに位置し、古くは武蔵一宮・氷川神社の門前町、中山道の宿場町として栄えました。区のほぼ中央には、全国有数のターミナル駅である大宮駅と県内で最大級の商業・業務地区があり、本市の交通・経済の中心地となっています。

都市基盤・環境

本市の都心の一つである区の中央部には新幹線5路線を含むJR線、東武野田線、埼玉新都市交通ニューシャトルがほぼ南北に伸び、道路は国道17号、旧中山道、産業道路が南北方向の軸、さいたま春日部線などが東西方向の軸となっています。鉄道・幹線道路の充実した区の中央部には商業・業務地区が集積し、高度な都市機能*を有するまちとして発展しており、拠点を構える企業が増えています。これらにぎわいのある地区の外側には静かな住宅街が広がっており、区内には、コミュニティ関連施設をはじめ、各種の文化・スポーツ施設などの公共施設の整備も進んでいます。

このように、基本的な生活環境や基幹的な道路・交通はほぼ整備されていますが、大宮駅及び周辺の中心市街地と郊外とを結ぶ東西方向の道路・交通については、さらに充実を図る必要があります。

大宮駅周辺地区は県内でも有数の商業・業務地区であり、近年は駅周辺に教育施設などが増えており、若い人々が集まり、活気が加わっています。今後も、開発の進むさいたま新都心駅東口とともに、まちづくり（再開発事業など）の進捗に伴って新しい時代にふさわしい快適な街並みとして整備されることにより、商業・業務機能の一層の集積による広域的な発展の核となることが期待されています。同時に、区民生活に必要な身近な商業・サービス業が集積した地区として、子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすく活動しやすい拠点としての整備も求められています。

産業

鉄道のまち、商業・業務・工業のまちとして発展してきた歴史があり、区の中央部に商業、サービス業などの産業が集中しています。特に、商業は市全体の経済活動の面でも重要な役割を担っていますが、古くからの商業地の中には活性化が必要とされているところもあり、事業者と行政が連携して魅力ある商店街づくりを進めることが求められています。また、全国有数のターミナル駅としての拠点性を生かした新たな核となる産業の創出が求められています。



鉄道博物館（写真提供：鉄道博物館）

大宮区 の 将来像

うるおいのある高度な生活基盤と 氷川の杜の緑と文化が 調和するまち

商業・経済都市としてのまちのにぎわいと暮らしやすい生活環境、憩いの空間である氷川の杜の緑や見沼田圃の自然など、大宮区の特性をより高めながら、多彩な資源を活用して地域文化を発信し、人と人との交流が生み出す活力あるまちづくりを進めます。



氷川神社

まちづくりのポイント

1 東日本の玄関としてふさわしい、利便性と機能性を兼ね備えた大宮駅周辺のまちづくり

- 大宮駅周辺とさいたま新都心駅（東口）とが一体となった広域的なまちづくり
- 大宮駅東口における商業のにぎわいと氷川の杜の歴史・文化が調和したまちづくり
- 大宮駅西口周辺の商業・業務機能の充実と、都市施設整備や緑化推進などによる洗練されたまちづくり
- さいたま新都心駅（東口）の商業・文化機能を中心とした、人・物・情報が行き交うまちづくり
- 子どもから高齢者までの地域住民のみならず、訪れる人誰にもやさしく、安心して利用できる大宮駅周辺のまちづくり



大宮駅西口



大宮駅東口

2 質の高い生活環境と安心して暮らせるまちづくり

- 安全で安心して暮らせる、災害に強く、犯罪のないまちづくり
- 渋滞のない道路交通や安全な生活道路*など、道路・交通環境の整った快適に暮らせるまちづくり
- 区民の健康増進や環境対策の推進などによる、健康に住み続けられるまちづくり
- 育児環境の整った子育てをしやすいまちづくり
- 学校と地域との活発な交流から生まれる、教育環境の整ったまちづくり
- 身近な公共施設の再編整備などに、計画段階から地域住民が参加するまちづくり

3 氷川神社などの区の魅力の発信と、人の交流が生み出すまちづくり

- 氷川の杜の緑や見沼田圃の自然などの緑のイメージ、氷川神社や鉄道をはじめとする歴史伝統文化などの地域固有の資源を活用した個性ある地域文化の創造と発信
- 伝統芸能の振興に加え、地域に根づいた特色ある祭りや誰もが参画できるイベントの積極的な活用と発信
- まちの情報や観光ルートが充実した訪れたいまちづくり
- 区民自らがまちの魅力を知り、高め、伝えるまちづくり
- 若者が集い、活力ある文化を発信するまちづくり
- 区民による文化・スポーツ活動と大宮区を拠点とするプロサッカーチーム大宮アルディージャとの交流による一体感の醸成
- 地域住民相互の交流の活発化、行政と連携したボランティア活動などによるコミュニティづくり



氷川参道



NACK5 スタジアム大宮 (写真提供：大宮アルディージャ)

4 自然環境と調和したうるおいのあるまちづくり

- 氷川の杜の緑や見沼田圃の自然などを保全し、憩いの場としての活用
- 緑の拠点づくり、鴨川・鴻沼川・芝川・見沼代用水などを生かした水と緑のネットワーク化
- 街路樹の整備などによる市街地の景観に配慮したゆとりある空間の創出



見沼区

● 特 性 ●

市の北東部に位置する見沼区は10区の中で2番目の区域面積を持ち、人口規模も南区について2番目に大きい区です。区域の西から南、東を縁取るように見沼田圃が広がっており、豊かな水と緑に恵まれている一方、北部には高層住宅群をはじめ計画的に形成された市街地が広がり、都市的な生活環境と自然の魅力が共存しています。

都市基盤・環境

区のほぼ中央を東武野田線が東西に、北西部にはJR宇都宮線が南北に延びており、いずれも大宮駅と結んでいます。また、幹線道路としては、第二産業道路が区の西部を南北に、さいたま春日部線が区の中央部を東西に延びているほか、東北自動車道岩槻インターチェンジにも近接していますが、広い区域面積に比べて道路や公共交通機関の整備は十分とはいえません。

住宅地としては、北部では土地区画整理事業*によって良好な住環境が形成され、見沼代用水東縁と綾瀬川の流れる南東部には見沼田圃が広がり、農地・緑地が豊かに残されています。

区内には、道路や下水道などの都市基盤*の整備の遅れ、ミニ開発によるスプロール化*や宅地の細分化などもあり、計画的に都市基盤・生活基盤の整備充実を図る必要があります。また、大和田駅から区役所周辺を身近な拠点として機能を高めていくとともに、鉄道駅や区内の主要箇所を結ぶ道路・交通の整備を進め、豊かな自然と共生できる暮らしやすいまちづくりが求められています。

地域資源

見沼区は東部を見沼代用水東縁、綾瀬川が流れ、南西部では芝川に近接しており、河川に沿って水田のほか、花き・花木や野菜栽培の畑などが広がり、背後の斜面林と一体となって「見沼田圃」の景観をつくっています。また、見沼代用水東縁沿いに緑のヘルシーロードが整備されており、見沼田圃の動植物や景観を楽しむことができます。この他、大宮南部浄化センターの自然庭園・みぬま見聞館、旧坂東家住宅見沼くらしっく館など、緑の文化ともいうべき地域資源が多くあります。

しかし、近年は休耕地も増えており、自然景観や生態系の維持のためにも農家、地域住民、行政が連携した積極的な取組による見沼田圃の保全策が重要な課題となっています。

また、区役所に隣接する大宮武道館や堀崎公園等のスポーツ施設や、3つのコミュニティセンターなど、区民の様々な活動の拠点が整備されています。



旧坂東家住宅見沼くらしっく館

コミュニティ

見沼区では新しく住む人々が増えており、古くから住んでいる住民とこれらの新しい住民との交流が活発な地区も見受けられ、地区の一体感とコミュニティ意識が高い様子が見られます。また、見沼区には芝浦工業大学などのキャンパスや新興住宅地もあって若い人々が多く、また外国から移り住む人も多く見受けられることから、区内の施設や地域資源を活用して、老若男女様々な人々が交流を深め、見沼の文化をまもり育て、愛されるまちづくりに共に取り組んでいくことが大切です。



見沼区 の 将来像

見沼の自然との共生

—私たちが まもり育てる 見沼の文化—

区民と行政の協働により、見沼の豊かな自然と心のふれあいをまもり、動きやすく、生活しやすい、安全で安心なまちづくりを推進します。

まちづくりのポイント

1 見沼の自然を生かしたまち

- 見沼の多様な自然の保全・活用とネットワーク化の推進
- 見沼の自然を生かし、人々が集まり、活動し、交流することのできる、豊かな水と花や緑あふれるオアシスの創造
- 区民と行政が協働して取り組む、環境や景観に配慮した住宅地の整備、斜面林等の緑地の保全、農業体験や地産地消*等を踏まえた農地の保全など自然と調和した土地利用
- 自然エネルギーの活用促進など、環境負荷*の少ないまちづくり



クマガイソウ

2 人にやさしく、ふれあいのあるまち

- 子どもがのびのびと育ち、高齢者が生き生きと暮らせる、あらゆる人にやさしい、思いやりのある地域づくり
- 見沼の自然や歴史など、地域固有の資源を生かした誇りと愛着の持てるコミュニティの創出と文化の振興
- 様々な分野の組織や世代を超えた人々が交流できる場や機会の充実と、情報共有の促進
- 既存施設などの充実や有効活用による、様々な地域活動の活性化に向けた環境づくり



大宮南部浄化センター



片柳コミュニティセンター

3 動きやすく、生活しやすいまち

- 子どもから高齢者までが移動しやすい、電車・バス・自転車による交通網の充実と、駅や区役所など主要施設へのアクセス性の向上
- スポーツ施設間の連携促進と気軽に運動しやすい環境づくり
- 駅周辺の活性化や下水道の充実など、暮らしやすい生活基盤づくり



大宮武道館

4 地域ぐるみで進める安全・安心なまち

- 地域と行政の連携による防災・防犯・交通安全対策の推進
- 歩行者や自転車が安全に、安心して利用できる道路環境の整備